

慶蔵院寺報

公孫樹

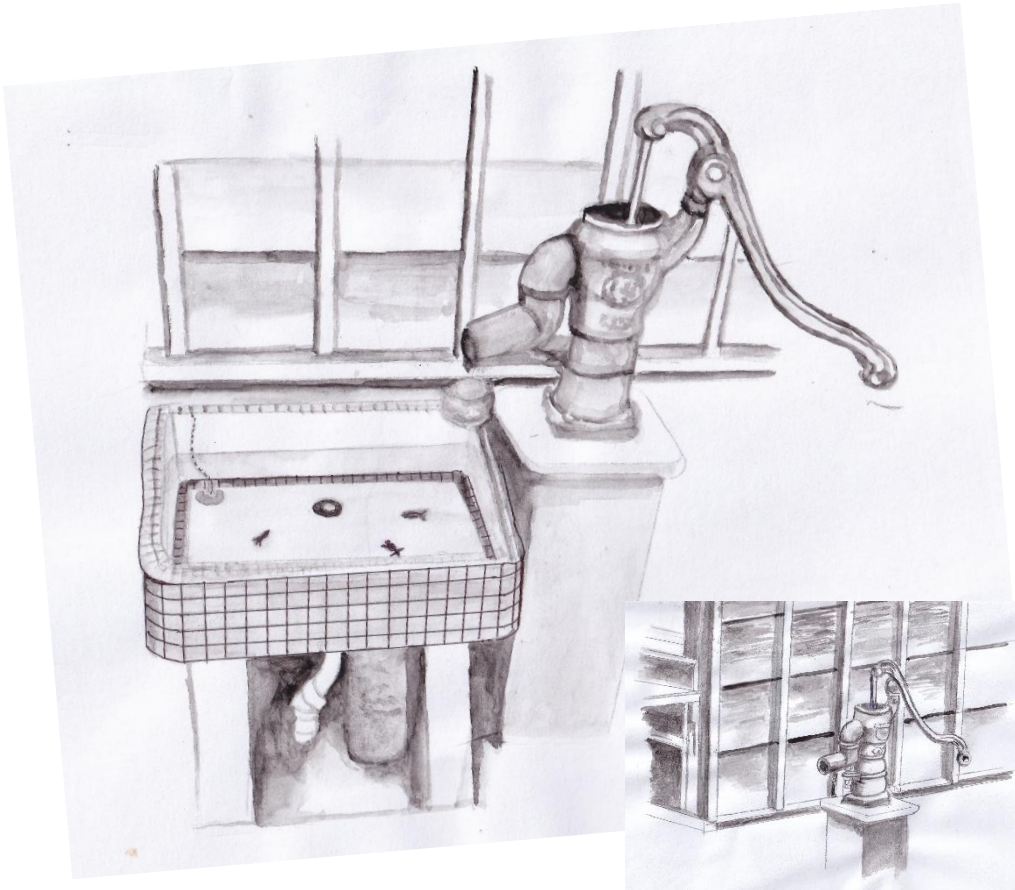
2023年8月発行

第139号

浄土宗慶蔵院

伊勢市小俣町元町1211

☎0596(22)3726



地蔵堂の井戸の手押しポンプ

画 山寄淑子

「井戸の水は気持ちがいいなあ」 毎朝実感しています

朝、勤行の前の時間に、地蔵さんの井戸水で顔を洗うのが私たちの習慣となりました。冷たくて気持ちがいいのです。片方がポンプを押して片方が顔を洗い、交代しながら続けています。朝のお参りの方々も、同様に顔を洗ったり、手を洗ったり…。井戸を掘ってくれた辻井さんも、水の流れを作るため…と毎朝、毎夕に水を汲み出してくれています。

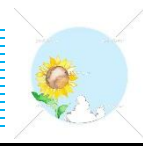
濁りは上がってこなくなりましたから、盆が明けたら飲料水としても適切かどうかの検査に出そうと考えています。

それだけではありません。思いついたことがあります。この汲み出した水を掛ける「水掛地蔵さん」を、この場所にお迎えしたい…。「この水は眼病に良い、目に効く…」という、これまで伝承されてきた信仰に加えて、水を掛けることを通して祈願する方の願いが成就するという新たな信心の対象となる地蔵さんにご縁をいただきたいの思いです。

日本各地にある「水掛地蔵さん」をインターネットで検索しながら、お盆が明けたら、地蔵探しの旅に出よう…などと夢を見ています。「この方が刻まれた地蔵さんがいい…」という出会いを求めて…。いや、そのお地蔵さんは案外、身近なところに待っていてくれるかもしれません。楽しみです…。

こうして地蔵さんが見つかって、届いたら、お地蔵さんの周りは祠で囲い、現在の「身代り地蔵堂」奥の桂の樹の前あたりにお座りいただく…。そして放射線上に、念願の永代供養堂を整備していく…という総合構想です。並行してこの二つの構想を推進していきたいと思えます。どうぞ、水を汲みに来てください。その場所を確かめてみてください。ペットボトルにてお持ち帰りください。手につけ、足につけ、痛いところにつけ、お仏壇にお供えし、信心倍增、健康増進のご利益をいただいでください。

8月の行事予定



2日(水)～8日(火)	初盆参り	日時を申し込んで下さい
9日(水)～14日(月)	棚経参り	日程表をご覧ください
15日(火)	盆施餓鬼塔婆回向	午前9時～初盆のお家の 塔婆回向 午前10時～初盆家以外の 塔婆回向
24日(木)	地藏盆 初盆精霊送り	初盆のお家の皆様 午後6時～ 本堂にて法要 午後7時～ 地藏講・男性詠唱隊の皆様 による御詠歌とともに境内 にて初盆精霊送り、古塔婆 等浄焚式
12日・26日(土)	絵画サロン 講師 山寄淑子先生	午後7時～8時半 一会館にて 参加費1回500円

8月の行事お休みのお知らせ

写経・男性詠唱隊・戦没者慰霊・英語サロン・茶道教室・健康教室はお休みにさせていただきます。



開戦の詔勅をご存じですか？

今年も八月十五日、終戦記念日が近づいて来ました。終戦の詔勅（玉音放送）はよく知られていますが、ほとんど知られていないのが開戦の詔勅です。内容はインターネットで見られます。「…日本は世界の平和に寄与することを、明治天皇以来、常に心がけて来たが、誠にやむをえない事態になったのは、私の本意ではなく、自存と自衛のためである…」と日本の立場を述べています。本意は明治天皇の御詠「よもの海みなはらからと思つ世に など波風のたちさわぐらむ」だと思ひます。教訓として情報収集分析能力を高めて、挑発にのらないようにすることです。あと直感力高めて相手の本意を見抜くことも大切だと思ひます。

日本の平和と言へば憲法九条ですが、前文に「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼してわれらの安全と生存を保持しようと決意した」とあります。春秋左氏伝に「大国が信を以てて義を行ひ義を以て命を下さるならば、小国は安心して大国のなす秩序にしたがうであらう。然し信があてにならず義が行われぬとなればそのかぎりにあらず」と。

さて、中国共産党が領導する中華人民共和国はどうでしょうか。毛沢東語録に「戦争を消滅させるには戦争によるしかない。階級を消滅させたあかつきには戦争はなく人類の恒久平和がおとずれる。」と。つまり中国共産党が世界（宇宙サイバー空間も含めて）を領導し、徹底した監視で争いの芽を摘めば戦争はなくなると、今はまだ力不足でそのような状態に達していないが、あらゆる手段を用いて計画的に達しようとしています。

さかしてはならぬ中華の華。世界が不幸になるから…。さかせねばならぬ弥陀の華。世界を幸せにするために…。

(文 麻畑公生)



おしらせとおねがい



棚経について

今年も寺世話人さんが、午前・午後、交代して助けてくださいます。

住職と副住職で分担して、棚経にまわらせていただきます。日程表をご覧ください。ご都合の悪い方はご連絡ください。



初盆を迎えられるお家の方へ

8月15日(火) 午前9時~初盆塔婆回向
8月24日(木) 午後6時に本堂にお参りください。本堂と地藏堂にそれぞれ1000円をご志納お願いします。初盆精霊灯籠をお祀りされた方は、24日午前中までに慶蔵院に届けて下さい。夜の初盆精霊送りに浄焚させていただきます。

麻畑公生の「浄土宗新聞」 見どころ・読みどころ



P.7 お仏壇の掃除

お仏壇の掃除の仕方が具体的に書いてあり参考になります。掃除を始める前に「これからお掃除をさせていただきます」との思いを込めてお念仏をお称えし、終わったら新しいお供え物とお花を供え、もう一度心を込めてお念仏を称えるよう勧められています。お掃除は、お盆が来るまでにすませ、お祀りの仕方がわからない方には、精霊棚の祀り方が参考になります。

またお位牌をお仏壇から出して並べておくことが大切です。棚経の際に住職も戒名が読みやすくなります。

今年は8月15日の夜、慶蔵院境内で「かんこ踊り」も実施されるとのことです。楽しみにしたいと思います。

晩酌に心の錆が溶けていく

奥田 悦生
（「知恩」八月号「柳壇」に掲載）

(18)
住職の健康回復への道のり
七月初旬、朝目覚めると、両腰にピリピリする痛みを感じ、すぐに立ち上がることができなかつた。痛みを耐えて、椅子につかまって立ち上がるのとなんとか歩くことはできた。こんな状態であったが八尾に向つた。
骨には異常はなかつた。血液検査による痛みの数値は、通常の五十倍になっていたものの、腎臓などの数値に問題がなかつたことで一安心。腎結石でもなかつた。
問診を通して痛みの原因を探つた。通常腰痛の原因の80%は不明だというのが...。
整理された内容は、「一週間ほど前にしゃがんだ状態で夕方に、三日間、彼岸花の球根を植えたことがあつた。そのときの疲れが残つていたことに気づいていなかった。三日前にラーメンを食べた後で下痢を起こしたのも内臓の疲れ。暑さで弱つていた。風間と朝方の冷えの変化に身体がついていけず寝冷え状態で、体調を壊した。」ことが腰痛の原因と理解できた。
その対処として三日間かかったが、毎晩、冬装束で靴下も履いて、お腹を温めて、布団をかぶって寝た。不思議と眠れた。夜中に三回起きて、水分をとり、着替えをして汗を出し切つた。



令和5年10月4日(水)

会場 12時30分

開演 13時

第13回大正大学公開講演会

松阪 樹敬寺本堂にて 松阪市新町 874



吉村作治先生 講演会

入場無料(整理券が必要です)

参加希望の方は、慶蔵院にお申し込みください!!

講師「吉村作治先生」の紹介

東日本国際大学総長・教授

早稲田大学名誉教授

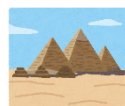
一九七四年、彩色階段発見

一九八二年、ミイラ二〇〇体発見

一九八七年、ピラミッド未知空間発見

一九九六年、北遺跡の発見

現在、クフ王墓探査など行っている。



落語会「いちご亭」

8月はお休みです。





講演会のお知らせ

九月七日(木) 午後二時から

慶蔵院「一会館」にて

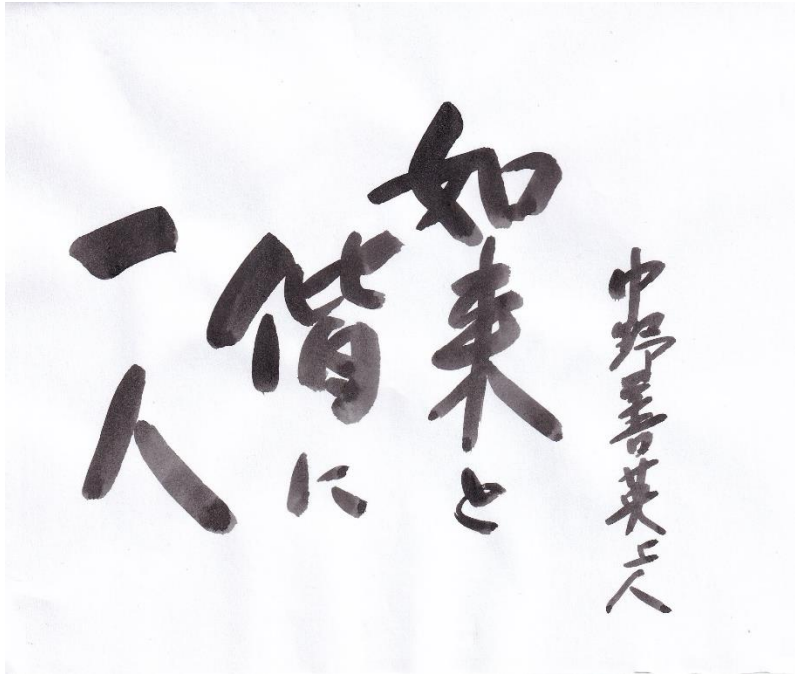
講師

三重県宗教者平和協議会代表

四日市大学名誉教授

真宗高田派正泉寺前任職

北島義三先生



北島先生からお話をいただく内容は、左記にまとめられたような話を織り込んでお話しただけのものと考えています。どうぞおいで下さい。

戦争に対して戦争で対応していれば、戦争は止むことがない。憎しみや憎悪が増すばかりである。武力によらない平和実現の道を求めなければならぬ。

韓国では二〇一七年三月十日、朴大統領が市民による「キャンドル革命」によって罷免された。一八三日の間に「キャンドル革命」に参加した人々の総数は約一七〇〇万人にのぼったという。逮捕者も死傷者もゼロ、非暴力平和革命であった。

キャンドルは一人一人が灯す平静な祈りの灯りである。人々は「あきらめることなく、焦ることなく、頭にくることなく」キャンドルの灯りを灯し続け、広げていった。

韓国においてこの運動を可能にしていた背景には、民衆に根差した宗教性の開花があったという。民衆と結びついたキリスト教、仏教、新仏教の教団に所属する多くの宗教者が「キャンドル革命」に参加していった。「私の生き方の変化が世の中を変えていく」「霊的なものこそ革命的である」と…。革命とは、今まで無視され続けてきた市民が歴史の主人公として前面に躍り出てくることである。歴史の前進の当たり前の姿…。

「霊的なもの」とは、藤井聡太名人的に語れば「将棋の神様」だろう。常に私に「このままでいいのか」と問いかけてくれて、私の進むべき道筋を示してくれる、私を超えた「大いなる力からの働きかけ」がそこにある。その働きかけは藤井名人が勝ち負けにこだわらないように、私のエゴや慢心を解き放ち、率直に仲間とのつながりを喜び、分かち合う心を育ててくれる。ここに宗教があり「霊性のはたらき」が得られる。この見えない力が私の生き方を変えてくれることに気づきたい。

